

令和6年度 第4回水道モニター レポート

① テーマ：災害対策への意識向上に向けて

- ・アンケートを活用する。
- ・チャートにより自分の備え及び被災時の行動を具体化できるシートを市で作成してほしい。
- ・情報媒体に辿り着くまでの動線（気になる、と思わせる仕組み）を工夫すると良いと思う。
- ・スーパーや大型ショッピングモール、病院等にチラシやポスター等を設置してもらい、市民の目に少しでも多く入ると良いと思う。
- ・3.11の東日本大震災を忘れないようにすることではないかと思う。3.11前後の1週間に集中的に備蓄や情報取得方法をHPやSNS、防災ラジオ、町内放送等で大体的にPRする。
- ・教育機関と連携して小中学校で警察の交通安全教室のように話す場を設けて発信し、子供のいる家庭に向けて周知ができると良いと思う。
- ・各地で災害が起きた直後は防災への意識が高まっている時だと思うので、都度SNSでPRする。
- ・公園や学校に給水設備があることは今回初めて知ったので、知らない市民も多いと思う。看板等で現地に表記してはどうか。
- ・TikTokやインフルエンサーとのコラボイベントを行う。
- ・市内の給水拠点を把握するため、スタンプラリーを企画・実施して現地を訪れる機会を設ける。
- ・Instagramで給水訓練の様子やイベント開催時の様子を伝える。
- ・県や関係機関と連携し、防災フェスを開催することで、防災に関する正しい知識を養う機会を設ける。
- ・「災害時の水対策」として簡潔に、ペットボトルとリュックを活用し市民センターに水をもらいに行く、とSNSや広報誌でPRする。
- ・若者向けのデジタルな情報発信だけでなく、アナログな方法も交えた全年齢に対応できる情報提供の仕方を考えていく必要があると思う。

※内容が重複しているものは、集約して記載しております。

② その他の意見・感想

- ・水戸市の水道事業と経営について、関心と理解が凄く高まった。特に浄水場という現場での見学と、現場で勤務している職員の話はとても印象に残っており、大人になってからのこういった機会の意義を改めて感じた。
- ・第4回のグループ討論で発言できなかった方がいたのが気になったため、ワークショップを行う等し、少し場を暖めると意見も出やすかったかもしれない。
- ・モニター活動を通して感じたこと、学んだことを周りの人達に伝え、一人でも多くの人が水戸市の水道事業に関心を持ってもらえるようにしたいと思う。
- ・命を繋ぐ為の大切な水を確保するためにどうすればいいのか、どんなサポートがあるのか、今まで知らなかったことを知ることができた。
- ・いつ災害に見舞われるかわからないので備えの大切さ、そして情報をどこで得るのかという2点は徹底していこうと思った。
- ・座学だけでなく全国でも珍しい楮川ダムを実際に見学でき、また水戸光圀が笠原水源から水道を下市に引いた経緯等が分かり大変感銘を受けた。
- ・コンボライフの組み立てを実際に体験でき、災害対応について水戸市が他市に比べ対応が進んでいるのを実感できた。
- ・電気やガス等のエネルギーには意識はあったが、水道の方がライフラインとしては重要なことに気づかされた。
- ・施設見学やコンボライフ組み立てについてはモニターに対してだけばかりでなく定期的に募集をかけて実施してみてはどうか。
- ・水道モニターを経験したことで日常においても水資源について考えることが増えたと思う。